

事 務 連 絡  
令和2年11月20日

全国土地改良事業団体連合会総務部長 様

農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課  
課長補佐（団体指導・利用調整班）

令和3年度スマート農業実証プロジェクトの実施に向けた相談窓口  
の設置について

令和2年11月16日、農林水産省技術会議事務局研究推進課より、令和3年度のスマート農業実証プロジェクトの実施に向けた相談窓口の設置について、各都道府県土地改良事業団体連合会への周知依頼がありましたので、別紙のとおり、お知らせ致します。

また、各都道府県土地改良事業団体連合会を通じ、土地改良区への周知にもご協力いただきますようお願い致します。

(別紙)

令和2年11月16日  
農林水産省技術会議事務局研究推進課

令和3年度スマート農業実証プロジェクトの実施に向けた相談窓口の  
設置について

高齢化等による担い手不足が深刻化する中、我が国農業の成長産業化に向けては、技術発展の著しいロボット技術やAI、IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の実現により、生産性向上や労働力不足の解消を図ることが急務となっております。

このため、農林水産省では、令和元年度から「スマート農業実証プロジェクト」(※)として、現在の技術レベルで最先端の技術を生産現場に導入・実証することで、技術面・経営面での効果を明らかにし、スマート農業技術の更なる高みを目指すとともに、社会実装の推進に資する情報提供等を行う取組を支援しています。

この「スマート農業実証プロジェクト」では、令和3年度においても新たな実証地区を設けることを検討しており、是非、ご関心のある皆さまに当該実証プロジェクトをご活用いただき、スマート農業の社会実装を推進してまいりたいと考えておりますが、他方、生産者・民間企業・大学・試験研究機関等によるコンソーシアムの設立や、実証内容の検討には時間を要することから、早期に検討を開始いただくことが望ましいため、今般、農林水産省技術会議事務局研究推進課において、令和3年度のスマート農業実証プロジェクトの実施に向けた相談窓口を設置いたしました。

メール、お電話、Webex等を用いたテレビ会議等で、随時対応させていただきますので、以下の担当まで、お気軽にご連絡いただけますと幸いです。

なお、実際の公募等につきましては、予算内容が定まってから(年明け以降)を予定しております。

どうぞよろしくお願いいたします。

※「スマート農業実証プロジェクト」の詳細については、下記のホームページをご参照ください。  
([https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart\\_agri\\_pro/smart\\_agri\\_pro.htm](https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/smart_agri_pro.htm))

**【相談窓口】**

農林水産省技術会議事務局研究推進課  
スマート農業チーム  
(担当) 豊井、金子、東  
電話 03-3502-8111 内線 (5891)  
メールアドレス [smart\\_agri@maff.go.jp](mailto:smart_agri@maff.go.jp)